

草加市の水害の特徴

草加市で洪水が起きたらどうになってしまうの？
私の家は大丈夫かしら？

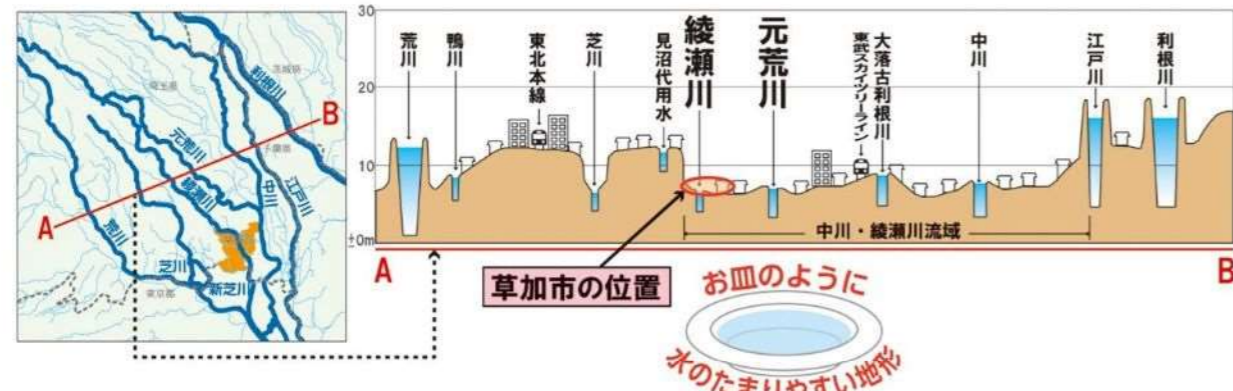


草加市周辺の川があふれた場合、市内のいずれかの地域で浸水するおそれがあります。このハザードマップを使って、避難の方法や避難所をあらかじめ確認しておきましょう！
また、浸水してしまうと、3日以上水が引かない地域があります。備蓄品の準備方法や日ごろの備えも一緒に確認しておいてください。



● 草加市は、水のたまりやすい地形です

市内を流れる川だけでなく、利根川や荒川など、草加市から離れた大きな川があふれても、浸水するおそれがあります。



草加市の位置
お皿のように
水のたまりやすい地形

水害の種類

外水氾濫

大雨により川があふれたり、堤防が決壊したりすることで市内に水が流れ込む現象です。

発生しにくいが起こったときには大きな被害



内水氾濫

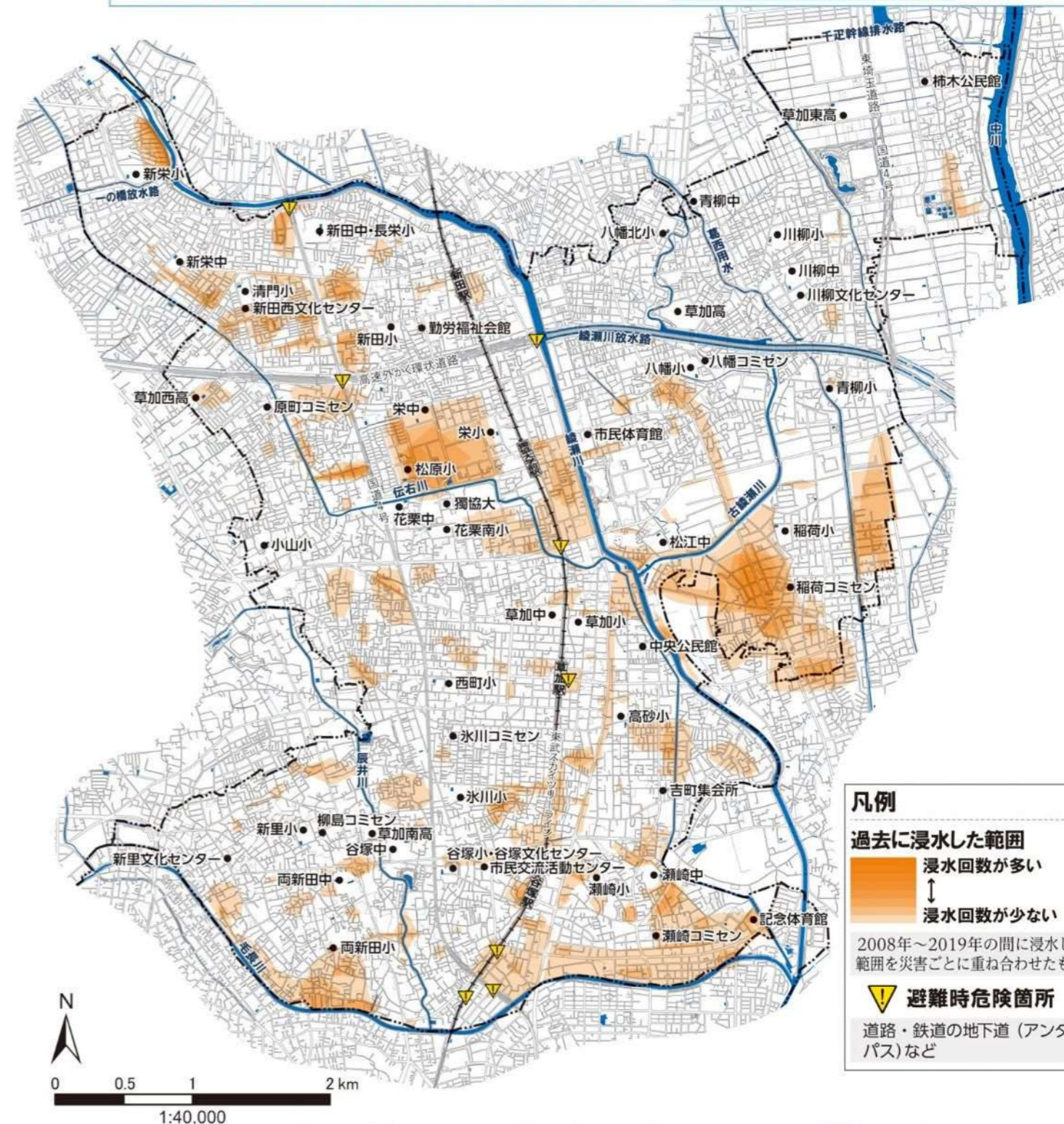
大雨が降り、排水が追いつかずに、建物や土地が水に浸かる現象です。

発生しやすいが危険性は少ない



浸水履歴図 (内水氾濫状況)

重ね合わせ図



凡例

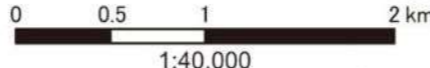
過去に浸水した範囲

- 浸水回数が多い
- 浸水回数が少ない

2008年～2019年の間に浸水した範囲を災害ごとに重ね合わせたもの

避難時危険箇所

道路・鉄道の地下道 (アンダーパス) など



このような雨には注意



1時間の雨量 20mm以上50mm未満

- 傘をさしていても濡れる
- ワイパーを動かしても前が見えにくい
- 側溝から雨水があふれ出す



1時間の雨量 50mm以上

- 傘が役に立たなくなる
- 車の運転が危険になる
- 地下室に雨水が流れ込むときがある

【浸水履歴図とは】

この浸水履歴図はおおむね過去10年の間に、台風や集中豪雨により発生した浸水被害をまとめたものです。職員のパトロールや市民の方々による通報などをもとに作成したもので、すべての浸水実績を反映したものではありません。

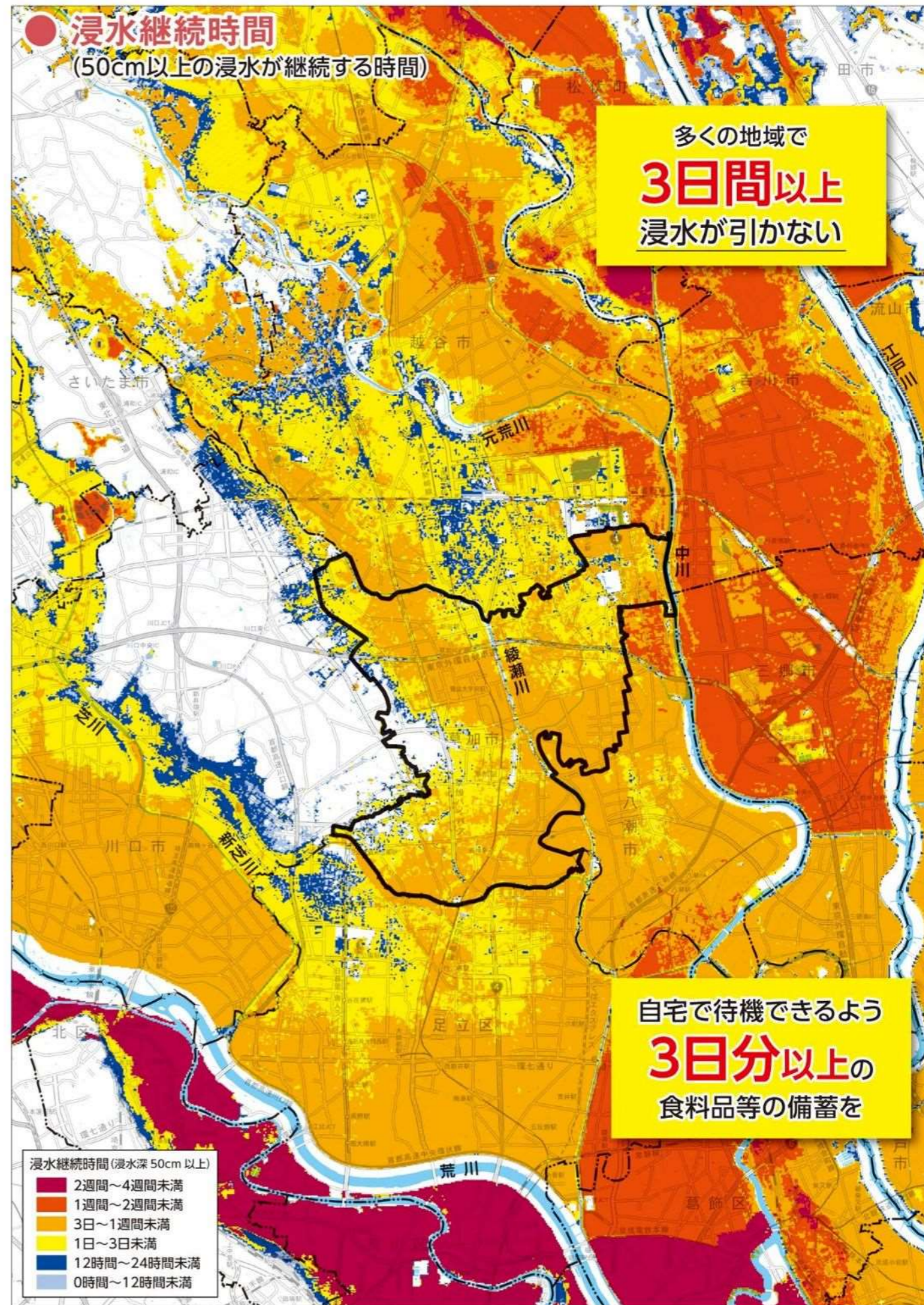
※個別の浸水履歴図については市ホームページで公開しています。

川があふれたら (重ね合わせ図) 想定最大規模

※想定最大規模とは、約1000年に1回の確率で発生することを想定した大雨の規模です。



このハザードマップは、利根川、江戸川、荒川、中川、綾瀬川、元荒川、芝川、新芝川、毛長川、辰井川、伝右川が氾濫した場合の浸水想定区域図を重ね合わせたものです。



災害が起きたとき・近づいているとき

災害が来る前・日ごろからの備え

知っておきたい 草加の地形

マイ・タイムラインを作ろう!